

令和3年度「力を試そう 富山県オリジナル問題」問題活用の参考資料 **実施対象学年 第5・6学年**
 小学校国語「自分の伝えたいことが伝わる文章になるように、書き表し方を
 見直そう」問題番号1二、三の趣旨を生かした授業展開例

【指導のねらい】

目的や意図に応じて、自分の考えをまとめたり資料を用いたりして書くことができるようにする。

【学習指導要領における内容（領域）】

〔第5学年及び第6学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

- ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- エ 引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

【単元「富山県の魅力を紹介しよう」の単元学習計画】

時	主な学習活動	評価する内容 (評価方法)	この単元で身に付けたい力
1	○単元の流れを共有し、見通しをもつ。 ○紹介したい富山県の魅力をみつける。	(略)	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする力 ・事実と感想、意見とを区別して書く力 ・引用したり、図表やグラフを使ったりして書く力 ・自分の考えが伝わるように書き表す力
2	○自分の紹介したいものについて調べる。	(略)	
3	○紹介する文章の構成を考える。	(略)	
4	○伝えたいことが伝わる書き表し方を検討する。 [本時]	(略)	
5	○紹介する文章を書く。	(略)	・自分の考えが伝わるように書き表す力
6	○書いた文章を推敲する。	(略)	
7	○読み合って相手の文章のよいところを伝える。 ○この単元での学びを振り返る。	(略)	

※ 学習場面の設定

紹介する学習場面は、以下の内容で学習を進めてきた中での想定である。

- ① 単元の始めに、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう「富山県の魅力を紹介しよう」の単元全体の学習の流れと身に付けたい力を児童と共有している。
- ② 情報収集から書き表すまでの学習活動を児童が「この単元で身に付けたい力」にそって目当てをもち進度を調整しながら取り組んでいる。

※ 細川さんの学習の流れ

細川さんは、前時までに「富山のおいしい水」について情報を集め、構成表に基づいて分かったことや考えたことを整理している。次に、自分の考えを伝えるために用いた写真や図表の資料が適切か確認したいと思っている。

1 本時の自分の課題を明らかにした上で、学習に取り組む。



今日は、構成を基に、自分の考えが伝わる文章になるよう、書き表し方を検討するところまで進めていけるといいですね。ここまで各自で学習を進めてきましたが、一人で進めても周りの人と相談しながら進めてもかまいません。他の人に読んでもらうことで、気付くこともあると思いますよ。では、ワークシートに「この単元で身に付けたい力」のうち、今日の授業で意識して付けたい力を基に自分の目当てを書いて学習を始めましょう。



細川さん

今日の私の目当ては、自分の考えを伝える上で、資料が適切かを確認することだな。誰かに私の作文を読んでもらって、意見を聞きたいな。



細川さんと同じように資料の効果的な使い方について考えている人と相談してみるといいかもしれないね。他の人に意見を聞くときには、検討してもらいたい点を伝えるといいですね。

★ポイント★

「この単元で身に付けたい力」のうち、本時ではどの力を身に付けようとするのかを児童一人一人が意識し、自分の目当てをもてるように助言することや、児童一人一人の特性や学習進度、学習到達度等を把握し、個々の興味・関心等を踏まえてきめ細かく指導・支援していくことが大切です。



細川さん

意見をもらいたいことが二つあります。一つは、文章の下に示した資料があることで、伝えたいことが分かりやすくなっているかということです。もう一つは、付け加えたらよいと思う資料があれば教えてほしいということです。

【細川さんの紹介文の一部】

2 調べて分かったこと		
・(3)富山県の水をのどにすくする大地の ・(2)富山県の水をのどにすくする大地の ・(1)富山県の水をのどにすくする大地の	・(3)富山県の水をのどにすくする大地の ・(2)富山県の水をのどにすくする大地の ・(1)富山県の水をのどにすくする大地の	・(3)富山県の水をのどにすくする大地の ・(2)富山県の水をのどにすくする大地の ・(1)富山県の水をのどにすくする大地の
ミネラル 地味な 水	地味な 水	地味な 水



細川さん

なるほど。今使っている資料は効果的だけれども、さらに資料があった方がいいということか。メモしておこう。

【細川さんのワークシート】

①見直す部分 2 (1)の資料		自分の考えを伝える上で、資料が適切かを確認する	富山県のみ力を伝える文章を書こう
・富山県の水をのどにすくする大地の ・富山県の水をのどにすくする大地の ・富山県の水をのどにすくする大地の		・富山県の水をのどにすくする大地の ・富山県の水をのどにすくする大地の ・富山県の水をのどにすくする大地の	月 日 () 富山県のみ力を伝える文章を書こう



細川さん

でも、「富山のおいしい水」について伝えるのに、野菜を洗っている人の写真は必要かな。他の人に意見を聞いてみよう。

★ポイント★

図表やグラフを用いるのは、示すべき事実が、図解したり、表形式やグラフ形式で表したりする方が分かりやすい場合です。実際に報告したり説明したりする文章を書く学習において、児童が目的に応じてふさわしい図表やグラフを考えるように習慣付けるようにすることが大切です。

2 今日の学習を振り返る。



今日の授業で、自分の目当てに関して、学んだことを振り返りましょう。



細川さん

私は、自分の伝えたいことが伝わるようにと資料を選んでいたらつもりだったけど、初めて読む人の立場になって資料を選ぶことができていなかったと気付いたよ。自分が何を伝えたいかによって、必要な資料を選ぶことも大切だと思ったよ。これからは、読む人の立場に立って、自分が伝えたいことに合う資料の取り入れ方をするようにしていきたいな。

・参考：報告書 平成31年度P.20～P.37
 授業アイディア例 令和3年度P.5～P.6

「令和３年度『力を試そう 富山県オリジナル問題』問題活用の参考資料」（小学校国語）の見方

【タイトル】
小学校国語に
おいて、どのよう
な活動を行うの
かを示していま
す。

【問題番号】
令和3年度「力を試そう 富山県オリジナル問題」の問題番号を示しています。

【指導のねらい】
児童に身に付けさせたい力や学習指導要領における内容を記述しています。

【ポイント】
提示した学習活動において、特に注目・留意すべき指導上のポイントを記述しています。

【実施対象学年】

参考として、実施対象学年を記述しています。

令和3年度「力を試そう 富山県オリジナル問題」問題活用の参考資料 実施対象学年 第5・6学年
 小学校国語「自分の伝えたいことが伝わる文章になるように、書き表し方を
 見直そう」問題番号⑦に、三の練習を生かした授業展開例

【指導のねらい】
目的や意図に応じて、自分の考えをまとめたり資料を用いたりして書くことができるようになる。
【学習指導要領における内容・領域】
【宮学年代及び第6学年】思考・判断力、表現力等 B 書くこと
ク 目的や意図に応じて簡単に自分の考えに詳しく書きいれるとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりすること。自分の考えがかわるようには書き表し方を工夫すること。
エ 引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えがかわるようには書き表し方を工夫すること。

時	主な学習活動	評価する内容 (評価方法)	この単元で身に付けたい力
1	○単元の流れを共有し、見通しをもつ。 ○紹介したい富山県の魅力を決める。	(略)	○目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりする力
3	○自分の紹介したいものについて調べる。	(略)	○事実と感想、意見とを区別して書く力
4	○伝えたいことが伝わる書き表し方を検討する。 [本時]		○引用し方、図表やグラフを使ったりして書く力
5	○紹介する文章を書く。	(略)	○自分の考えが伝わるように書き表す力
6	○書いた文章を推敲する。	(略)	
7	○読み合って相手の文章のよいところを伝える。 ○この単元での学びを振り返る。	(略)	

※ 学習場面の設定
紹介する学習場面は、以下の内容で学習を進めてきた中での想定である。
① 单元的始めに、児童が見通しをもって学習に取り組みむくことができるよう「富山県の魅力を紹介しよう」の児童全体の学習の流れに身に付けたい力を児童と共有している。
② 情報収集から書き表すまでの学習活動が児童が「この単元で身に付けたい力」にそって目当てまでも進捗を調整しながら取り組んでいる。

※ 細川さんの学習の流れ
細川さんは、前時までに「富山のおいしい水」について情報を集め、構成表に基づいて分かったことや考えたことを整理していた。次に、自分の考えを伝えるために用いた写真や図表の資料が適切か確認したいと思っている。

1 本時の自分の課題を明らかにした上で、学習に取り組む。

今日は、構成を基に、自分の考えが伝わる文章になるよう、書き表し方を検討することと進めているといいですね。ここでも各人で学習を進めてきましたが、一人で進めている人と相談しながら進めてもいいかもしれません。他人に読んでもらうことで、気づくことも多いと思います。では、ワークシートに「この単元で身に付けた力」のうち、今日の授業で身に付けた力を基に自分の目標を書いて学習を始めましょう。

細川さん

今日の私の目標では、自分の考えを伝える上で、資料が適切かを確認することだね。推しの作文を読んでみると、意見が聞きたいな。

細川さんと同じように資料の効果的な使い方について考えている人と相談してみてもいいですね。他の人に意見を聞くときには、検討してもらいたい点を伝えるといいですね。

★ポイント★

「この単元で身に付けた力」のうち、本時ではどの力を身に付けようとするのかを児童一人一人が話し、自分の目標をもとめるように助言することや、児童一人一人の特性や学習進度、学習到達度等を探し、個々の得意・関心等を踏まえてきめ細かく指導・支援していくことが大切です。



田中 哲也

意見をもらいたいことが二つあります。一つは、文章の下に示した資料があることで、伝えたいことが分かりやすくなっているかということです。もう一つは、付け加えたらよいと思う資料があれば教えてほしいということです。

【榎川さんの紹介文の一部】

2 調べて分かったこと	
<p>(1) 全国に認められた富士山のおし 水とその利用 ・全国の名水百選のうち八か所が選 られている ・飲料水や農業に使う水と、販 売された水とで別れていて、販 売された水をおいている川は、 富士山の水をおいている川は、 富士山の河川は、急流で、水 途中までとれない。そのため、 富士山の水をおいている大の 池、</p> <p>富士山は、おし 富士山は、おし や山は、おし や山は、おし 地下では、地中のミネラルを さがすゆうして</p>	<p>説明 流れ 地下の水 名水百選 説明 流れ 地下の水 名水百選</p>

2の「調べて分かったこと」の(2)の川や(3)の大地の働きは、図や説明があることで、文章の内容がよく分かるようになっていと思うよ。

でも、2の(1)の文章は、「名水百選」に選ばれている場所が、どこなのか気になる人かもしれないと思うよ。富山県にこんなにあることを伝えたいのだったら、名水百選の一覧表を示すといいと思うよ。

名水で野菜を洗うって、どういうふうになるのかな。写真を使えば、地元の人に利用されている様子が分かるから、富山の水の魅力がより伝わると思うよ。



鍾川さん

なるほど。今使っている資料は効果的だけれども、さらに資料があった方がいいということか。メモしておこう。

【細川さんのワークシート】

富山県のみ力を加える
文章を書く

自分の考えを伝える
上で、資料が適切
かを確認する

学習メモ

○最直す得分
2(1)の資料

・水を利用して
場所の様子を分
かりやすく伝え
るために、野々
花について、地元
の人の言葉を加
える

・富山のおいしい水
のある場所が県
内どこにある
のかを示すため
に、富山県内の
「名産地」の名
前と場所のち
なを加える



細川さん

でも、「富山のおいしい水」について伝えるのに、野菜を洗っている人の写真が必要かなあ。他の人に意見を聞いてみよう。

★ポイント

図表やグラフを用いるのは、示すべき事実が、図解したり、表形式やグラフ形式で表したりする方が分かりやすい場合です。実際に報告したり説明したりする文章を書く学習において、児童が目的に応じてふさわしい図表やグラフを考えるように習慣付けるようにすることが大切です。

2. 今日

今日の授業で、自分の目当てに関して、学んだことを振り返りましょう。



私は、自分のために、これが世に役立つようにと資料を選んでいづつもいつに、初め読む立場になって資料を選がなくていいなと気付いた。自分が何を伝えたいかによって、必要な資料を選ぶことも大切だと思った。これからは、読む立場になって、自分が伝えたいことに合う資料の取り入れ方をするようにしていきたい。

堀川さん

Figure 1. A schematic diagram of the experimental setup. The subject is seated in a chair, viewing a video screen. The screen displays a target (a red dot) and a starting point (a black dot). The subject's hand is positioned at the starting point. The distance between the starting point and the target is 10 cm. The subject is instructed to move their hand from the starting point to the target. The video screen is positioned 40 cm from the subject's hand. The subject's hand is positioned at the starting point. The distance between the starting point and the target is 10 cm. The subject is instructed to move their hand from the starting point to the target. The video screen is positioned 40 cm from the subject's hand. The subject's hand is positioned at the starting point. The distance between the starting point and the target is 10 cm. The subject is instructed to move their hand from the starting point to the target. The video screen is positioned 40 cm from the subject's hand.

・参考：報告書 平成31年度P.20～P.37
 母線アイディア創 令和3年度P.5～P.6

【学習過程】
児童が主体的に学習に取り組む学習活動について、問題解決の過程の例を具体的に示し、紹介しています。

【ワークシート】
児童のワークシートやノート
の記述例を示しています。

【参考】
本資料を作成
する際に参考
とした資料を
示しています。